

を必ず御通知下さい。

3. 10月8日(月)午後6時30分よりヤマトホテル食堂に於て晩餐會を催ふします。

會費金3圓也

4. 御旅館の御世話を御希望あれば實行委員にて致しますから御必要の方は宿泊地名並に月日御記入にて、滿洲國鞍山昭和製鋼所内大會實行副委員長久保田省三殿宛各自より早目に御申込置き下さい。

5. 旅行中外套御用意のこと。

6. 出席費、晩餐會費、見學自動車料は別紙振替貯金票に依り御拂込下さい。

7. 振替貯金局の通知を得て御出席の御申込に代へます。

振替貯金拂込後本會へ通知到着迄に内地は約4日、滿洲は約7日を要しますから豫め此の儀御承知置き下さい

8. 出席御申込を受けたる時は本會より出席章、見學自動車乗車證、晩餐會券を御送附致します。

9. 出席章は會期中必ず御佩用下さい。

10. 見學の際は申す迄もなきことながら次の各項に御注意下さい。

- 5 -

イ 出席章御忘れなきこと。

ロ 鑛山工場等見學の際は災害豫防の爲め洋服御着用のこと。

ハ 見學道順等は案内者の指示に従はれたきこと。

ニ 見學指定時限は必ず守られたし。

ホ 限りに模寫撮影せざること。

11. 振替票裏面の申込欄中「出」とあるは出席のこと「欠」とあるは欠席のことですから御手数ながら「出欠」の内一方を必ず御抹消下さい。これはつまらぬ事の様ですが出欠不明、送金と申込との相違等にて其照會に手数並に犠牲は不勤にて従つて事務の進行を妨げられますから御注意を願ひます。

12. 宛名先は振替票の表面拂込人住所名の所に明瞭に御記入下さい。法人名義の會員の方は代表出席者氏名及び稱號並役名等裏面の氏名欄に御明記下さい。

13. 送金内譯及參加申込書控

- 6 -

送金内譯及參加申込書控

出席費			¥100
第 I 日	旅順見學會 通俗講演會	出欠	自動車料 4.50
第 II 日	講演大會 晚餐會	出欠	會費 3.00
第 III 日	大連見學 第一班 第二班	出欠	自動車料 3.80
第 IV 日	大孤鐵山見學	出欠	計金
第 V 日	昭和製鋼所見學	出欠	氏名 名、贊、維持、正、准、會員
第 VI 日	弓張嶺鐵山見學	出欠	
第 VII 日	撫順炭礦見學	出欠	
第 VIII 日	奉天見學	出欠	
第 IX 日	甲班 出欠	出欠	
第 X 日			
第 XI 日			
第 XII 日	乙班 出欠		
第 XIII 日			
第 XIV 日			
第 XV 日			
第 XVI 日			

- 7 -

(I)

大會豫定順序書 (これは大體の豫定にて尙變更あるべきに付御諒知を乞ふ)

東京よりの日次	日	程
1	10月4日(木)	午後1:00 東京發
2	10月5日(金)	午前8:50 下關着 正午 門司出帆
3	10月6日(土)	航海
4	第 I 日 10月7日(日)	朝大連着 旅順見學 戰跡、旅順工大 通俗講演會 {會場 大連市公園町滿洲協和會館 日本鐵鋼協會、滿洲技術協會共同主催 大連市役所、滿洲日報社後援} (大連泊)
5	第 II 日 10月8日(月)	講演大會 會場 大連市ヤマトホテル 晚餐會 " " 食堂に於て (大連泊)
6	第 III 日 10月9日(火)	大連見學 第一班 滿蒙資源館 伏見臺研究所 寺兒溝三泰油房 甘井子石炭積込場 滿洲化學工業會社工場

- 8 -

6	第二班 滿蒙資源館 伏見臺研究所 滿洲中央試驗所沙河口研究所 沙河口滿鐵々道工場 昌光硝子工場 (大連泊)
7	第IV日 10月10日(水) 大孤山鐵山見學 (湯崗子泊)
8	第V日 10月11日(木) 昭和製鋼所見學 (湯崗子泊)
9	第VI日 10月12日(金) 弓張嶺鐵山見學 (撫順泊)
10	第VII日 10月13日(土) 撫順炭礦見學 (奉天泊)
11	第VIII日 10月14日(日) 奉天造兵所見學 奉天見學 戰跡、北陵、城内等 (奉天見學後 甲班、乙班に分つ甲班は奉天泊、乙班は車中泊)
12	第IX日 10月15日(月) 甲班 乙班 本溪湖煤鐵公司見學 新京見學 午前9時56分本溪湖着 鶴友俱樂部にて少憩の上中食、午後炭礦及製鐵所見學 (本溪湖泊) 新京見學 (新京泊)

- 9 -

甲 班 乙 班	
13	第X日 10月16日(火) 廟兒溝鐵山見學 午前9時58分本溪湖着 午前10時56分南攻着 選礦場見學後中食午後 廟兒溝鐵山見學 午後5時27分南攻發 (車中泊) ハルビン見學 (ハルビン泊)
14	第XI日 10月17日(水祭) 兼二浦製鐵所見學 甲班解散 ハルビン見學 (車中泊)
15	10月18日(木) 午前 9:20 釜山着 " 10:30 " 發 午後 6:30 下關着 " 8:15 " 發 第XII日 10月18日(木) 本溪湖煤鐵公司見學 午前9時56分本溪湖着 鶴友俱樂部にて少憩の上中食午後炭礦及製鐵所見學 (本溪湖泊)
16	10月19日(金) 午後4:40 東京着 第XIII日 10月19日(金) 廟兒溝鐵山見學 午前9時58分本溪湖着 午前10時56分南攻着 選礦場見學後中食 午後廟兒溝鐵山見學 午後5時27分南攻發 (車中泊)
17	第XIV日 10月20日(土) 兼二浦製鐵見學 乙班解散

- 10 -

18	10月21日(日) 午前 9:20 釜山着 " 10:30 " 發 午後 6:00 下關着 " 8:15 " 發
19	10月22日(月) 午後 4:40 東京着

終 了

應募講演題目並講演者氏名 (五十音順)

- 昭和製鋼所高爐設備及作業に就て
 昭和製鋼所銑鐵部 工學士 淺輪 三郎君
- ジラリミンの時効硬化の一時的停止に就て
 三菱重工業株式會社名古屋航空機製作所
 技師 工學士 池田 傳君
- 純銑鐵の製造に就て
 本溪湖煤鐵公司製銑科長 工學士 井門 文三君
- マグネシウム、カドミウム系を基礎とする
 多元系輕合金の研究
 旅順工科大学 工學博士 大日方一司君
 滿洲化學工業株式會社 萩谷 正己君

- 11 -

- 高温高压汽罐用鋼管の腐蝕に就て
 住友伸鋼鋼管株式會社
 技師 理學士 絹川武良司君
- 鋼材に對する水素の滲透及其の影響
 吳海軍工廠製鋼部々員
 海軍造兵中佐 工學博士 佐々川 清君
 吳海軍工廠製鋼部附 篠崎 孝雄君
- 八幡製鐵所に於ける銻鑄爐瓦斯の利用に就て
 日本製鐵株式會社 八幡製鐵所 白石 幾次君
- 電氣製鋼實驗的研究
 三菱重工業株式會社社長崎造船所
 工學士 中村 道方君
- 銅、アルミニウム、珪素三元系合金の平衡
 狀態圖に就て
 京都帝國大學工學部探鑛冶金學教室
 工學士 久恒 中陽君
 (久恒氏不可能の節は西村秀雄氏代講)
- ニッケル合金鋼の鍛鍊上參考を要す可き
 二三の點に就て
 日本ニッケル情報局 Dr.Sc 藤原 唯義君
- 鑄鐵の鬆に就て (後報)
 新潟鐵工所技師 松浦 春吉君

- 12 -